

2019 年度中京大学入学式祝辞

春爛漫のこのよき日に、中京大学の学部並びに大学院研究科の入学式を迎えました。学校法人梅村学園を代表して、ご挨拶申し上げます。入学生の皆さんには心よりの祝意とともに歓迎の意を表します。また、ご列席の保護者の皆さま方には謹んでお慶び申し上げます。

皆さんが入学した今年、新しい時代が始まります。昨日、新元号が「令和（れいわ）」と公表されました。皇太子殿下が新天皇に即位される5月から、この令和時代となります。皆さんには、ぜひ新時代を切り開いていく気概を持ち、社会のどの分野で自分を生かしていくかを考えてほしいと思います。中京大学は11学部、大学院は9研究科を擁する総合大学です。多彩な学問領域を備え、様々な学びの機会を用意しています。この「知の殿堂」の門を叩いたことに誇りを持ち、有意義な学生生活を送ってください。

皆さんは全国各地から集いました。育ってきた地域の生活や環境は様々です。それぞれの興味や関心も違うでしょう。色々な仲間と出会い、勉学や部活動などを通じて学び合い、刺激し合い、自分を磨いてください。そして個性を伸ばしてください。

中京大学は1954年に短期大学として開学し、2年後に四年制大学となりました。校訓は「真剣味」、建学の精神は「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」です。中京大学の開学者であり、初代学長の梅村清明先生は、理念を次のように説きました。「学術の場では学術の研鑽と共にジェントルマンシップ、レディシップを醸成陶冶する」。すなわち、学問に真剣に取り組むとともに、人格を磨くことの大切さを強調しています。中京大学で学んだ卒業生は、すでに13万人を超え、社会のあらゆる分野で活躍しています。

この建学の精神を一層深めるため、2014年に策定した長期計画「NEXT10」に基づき、教育力や研究力の向上、社会連携、国際化、卒業生連携を強化する様々なプロジェクトを進めています。教育の目標は「自ら考え、行動することのできる、しなやかな知識人の育成」を掲げています。真に自立した人間となり、社会で活躍できるよう、導いていきます。

さて、皆さんが生きていく社会とはどんな社会でしょうか。

日本は、IoT（インターネット・オブ・シングス）やAI（人工知能）、ロボットの技術をより高度に発達させた「超スマート社会」を目指しています。「狩猟社会」「農耕社会」「工業社会」、そして現在の「情報社会」に続く、5番目の新たな経済社会です。「Society5.0」と名付けられています。第四次産業革命とも位置付けられています。現実の世界と仮想的データ空間を融合させ、人々に豊かさをもたらす、人間中心の社会が到来するとされています。その実現に向けたポテンシャルをこの地域は持っています。

文部科学大臣の諮問機関である中央教育審議会は、昨年11月末に答申した「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」の中で、この「Society5.0」にも言及しています。知識

集約型の社会に移行することになり、「幅広い知識を基に、新しいアイデアを生み出せる力が強みとなる」と指摘しています。皆さんが世の中に出て活躍する社会が今後どのようなか、関心を持ち、自分が進むべき方向を探ってください。

日本の経済を見ると、政府は景気回復の期間が今年1月で74か月と戦後最長になったと発表しています。ただ、過去の景気拡大期と比べると、経済成長率は鈍化しており、陰りも見えます。アメリカと中国の貿易摩擦の影響が日本企業の懸念材料にもなっています。今後世界、日本の経済の動きに目を配っていく必要があるでしょう。

一方、政治の分野では現在、統一地方選挙が全国で始まっています。地方自治体の首長や議員を選ぶ4年に一度の機会です。地元の愛知県議会議員選挙、名古屋市議会議員選挙の投票日は今月の7日です。今年夏には国政選挙の参議院議員選挙も予定されています。選挙権年齢は3年前から「18歳以上」に引き下げられており、皆さんの多くが投票できます。投票するということは政治に参加する、ということです。若者の意見を政治に反映させることにもなります。地域や国政の動向にも関心を持ってください。

今年はスポーツの分野で、世界的な祭典があります。日本で開催されるラグビーのワールドカップです。豊田キャンパスのある愛知県豊田市も会場の一つになります。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、日本代表の選考が本格化します。55年前の1964年に開催された東京オリンピックには、卒業生も含め中京大学関係者は7人が出場しました。陸上2人、競泳3人、自転車2人です。来年の東京大会も本学関係者の出場が期待されます。ぜひ注目していただき、代表選手の活躍には拍手を送ってください。

中京大学を運営する学校法人梅村学園は、1923年の中京商業学校（現在の中京大学附属中京高等学校）の開校を始まりとしています。4年後の2023年には、学園創立100周年を迎えます。その翌年の2024年には中京大学は開学70周年を迎えます。梅村学園、中京大学の歴史は、時代や社会の要請に応え、質の高い教育を実践するため、改革を続けてきた歴史と自負しています。これからは、改革の歴史に加え、新たな価値を創り出す「創造」に挑んでいきます。「改革」から「創造」へ。梅村学園、そして中京大学は歩みを止めません。

皆さんはこれから始まる学生生活に、「高い志」を持ち、怠ることなく、常に校訓「真剣味」で臨んでください。広く、深く学びながら、これからの4年間で人脈をつくってください。教職員一同、皆さん一人ひとりの成長を全力で支援してまいります。

皆さんのご健闘を心より祈念して、私からの祝辞とさせていただきます。

本日はご入学、誠におめでとうございます。

2019年4月2日
学校法人梅村学園総長・理事長
梅村 清英